

Course number		U-LAS05 10009 LJ23					
Course title (and course title in English)		地域地理学 Regional Geography		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,KOJIMA YASUO	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Regions and Cultures(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Mon.2		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
地域への地理学的アプローチ。 人びとの暮らしを支える地域を、地理学はどのように捉えてきたのか、そして地誌をいかに書いてきたのかについて考えてゆく。							
[Course objectives]							
地域地理学の実際の研究過程、地理教育、地域論、地誌の伝統、さらに学史を考えることで、地域地理学の基本的な事項を理解する。							
[Course schedule and contents)]							
以下のような課題について、1 課題あたり 1 ～ 2 週の授業をする予定である。授業回数は15回、最終回はフィードバック。 (1) 地域地理学と地理学：地域とは何か？ (2) 地域を考える：地域を共感的に理解するとは？ (3) 地域を調べる：なぜフィールドにでかけるのか？ (4) 地域を伝える：ステレオタイプ化を避けるためには？ (5) 等質地域：地域はどのように把握されてきたのか？ (6) 機能地域：もう一つの地域の捉え方とは？ (7) グローバル化：ローカルとしての地域とは？ (8) 風土記：なぜ地誌は書かれたのか？ (9) 方志：中国で書き継がれてきた地域とは？ (10) 近代と中国地誌：近代に中国をいかに書いてきたのか？ (11) 近代地理学と地域：科学としての地理学の形成の過程とは？ (12) 地域地理学の20世紀：地域そのものが問題？ (13) 地図と京都：地図の大切さとは？							
[Course requirements]							
None							
Continue to 地域地理学(2) ↓ ↓ ↓							

地域地理学(2)

[Evaluation methods and policy]

主に期末試験による（8割）が、授業への参加度を加味する（2割）。
授業への参加度は、授業終了時のミニツツペーパー（5％）と授業後2週間以内に提出する課題レポート（15％）の提出によって測る。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業ごとに提示される課題レポートに取り組むことで、授業内容の理解を深め、さらに自らの興味関心に応じて発展させることが可能となる。なお課題レポートは3回の提出を標準とする。

[Other information (office hours, etc.)]

履修希望者が教室の収容可能人数を超えた場合には、履修制限を行うこととなります。とくに履修を希望する学生には「教員推薦」を行う予定です。